

古賀市自治基本条例（仮称） 「ミニ出前講座」

～古賀モノづくり博「食の祭典」～

平成28年2月17日
古賀市商工政策課

古賀市の強み

■好アクセス（高い交通の利便性）

- ・九州自動車道路 古賀インターチェンジ
※年間約200万台が古賀SAを利用

- ・JR3駅（鹿児島本線：ししぶ駅、古賀駅、千鳥駅）
※古賀駅の乗降客数は13,016人／日（博多駅まで約18分）

■製造業のまち（県内9位の工業出荷額）

多彩な企業群が安定的に雇用を創出



■職・住近接

- ・昼間人口割合 92%
- ・福岡市からも通勤圏

公務を除く

従業員数 23,373人
(うち、**製造業が34%**)

(参考)

卸・小売業 18.4% (福津市: 23.3%)

宿泊・飲食サービス業 6.8% (同: 9.1%)

工業出荷額（県内上位市町村）

県内製造業の概況（市町村別・平成25年工業統計確報）

（出荷額：1万円）

順位	市町村	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	前年比	主な立地企業（赤字は自動車関連）
1	北九州市	1,068	48,684	198,142,261	98.9%	新日鉄住金、ＴＯＴＯ、安川電機、三井ハイテック
2	苅田町	66	9,521	147,756,512	104.3%	日産自動車九州、トヨタ自動車九州、日立金属九州工場
3	宮若市	57	9,593	79,482,470	87.7%	トヨタ自動車九州、トヨタ紡績九州、トヨタテック福岡
4	福岡市	824	20,882	57,003,369	98.9%	アサヒビール、日清製粉、パナソニック、三菱電機
5	久留米市	419	12,004	30,856,815	109.6%	ブリヂストン、ダイハツ九州、アサヒ靴、ムーンスター
6	朝倉市	113	5,374	29,121,889	99.0%	麒麟麦酒、ブリヂストン、ふくれん、三和シャッター
7	筑紫野市	70	2,099	28,892,564	68.8%	J T九州工場、福岡ヤクルト工場
8	大牟田市	143	6,513	25,069,928	99.9%	三井金属、三井化学、電気化学工業、信号電材
9	古賀市	104	7,668	22,185,004	110.6%	山崎製パン、ハウス食品、ニビシ醤油、凸版印刷
10	飯塚市	188	6,454	15,710,597	115.7%	一番食品、三桜工業、日本タングステン
11	直方市	140	5,825	12,667,661	99.2%	三井ハイテック、もち吉、フタバ九州
12	筑後市	107	4,464	12,410,327	94.6%	日清製粉、ロッテ、ヤンマー建機、DNP
13	行橋市	85	4,640	12,134,971	110.3%	ＴＯＴＯ、安川電機、ローム・アポロ
16	新宮町	70	3,631	8,838,027	102.7%	フランソア、石村萬盛堂、フジパン、矢野特殊自動車
32	宗像市	43	1,398	3,459,097	101.5%	キューサイ
37	福津市	30	1,399	2,634,387	112.5%	名糖産業、キューヘン

出所) 経済産業省「工業統計」をもとに作成

- ・自動車関連産業（赤字）を抱える市町村が上位を占める傾向が顕著
- ・次いで、食品、飲料のウエイトが高い市町村が上位

古賀市を支える産業

従業者の約3割強が製造業に従事

製造品出荷額の5割近くを食料品が占める（福岡市に次ぐ県内2位）

一方で、小売業（商店街を含む）が苦戦（国道3号バイパスの開通、近隣への大型店出店）

産業別構成比（事業所数、従業者数）

	事業所数	従業者数	構成比
農林漁業	3	57	0.2%
鉱業・建設業	213	1,235	5.3%
製造業	182	7,948	34.0%
電気・ガス・水道	3	33	0.1%
情報通信業	12	43	0.2%
運輸・郵便業	101	1,879	8.0%
卸売・小売業	536	4,312	18.4%
金融・保険業	29	313	1.3%
不動産業	106	336	1.4%
飲食店・宿泊業	210	1,594	6.8%
専門・技術サービス業	45	137	0.6%
娯楽・生活関連	172	932	4.0%
教育・学習支援	66	508	2.2%
医療・福祉	152	3,226	13.8%
複合サービス	8	57	0.2%
その他サービス	112	763	3.3%
全産業（公務を除く）	1,950	23,373	

出所）平成24年経済センサス

業種別製造品出荷額（製造業）

	製造品出荷額	構成比
食料品製造業	11,335,702	58.5%
飲料・たばこ・飼料製造業	99,779	0.5%
繊維工業	X	X
木材・木製品製造業（家具除く）	345,310	1.8%
パルプ・紙・紙加工品製造業	828,700	4.3%
印刷・同関連業	3,465,663	17.9%
プラスチック製品製造業	348,381	1.8%
窯業・土石製品製造業	84,995	0.4%
金属製品製造業	608,787	3.1%
はん用機械器具製造業	2,190,839	11.3%
生産用機械器具製造業	540,617	2.8%
電気機械器具製造業	2,127,782	11.0%
情報通信機械器具製造業	X	X
輸送用機械器具製造業	39,101	0.2%
その他の製造業	X	X
製造業計	22,185,004	

出所）平成25年工業統計

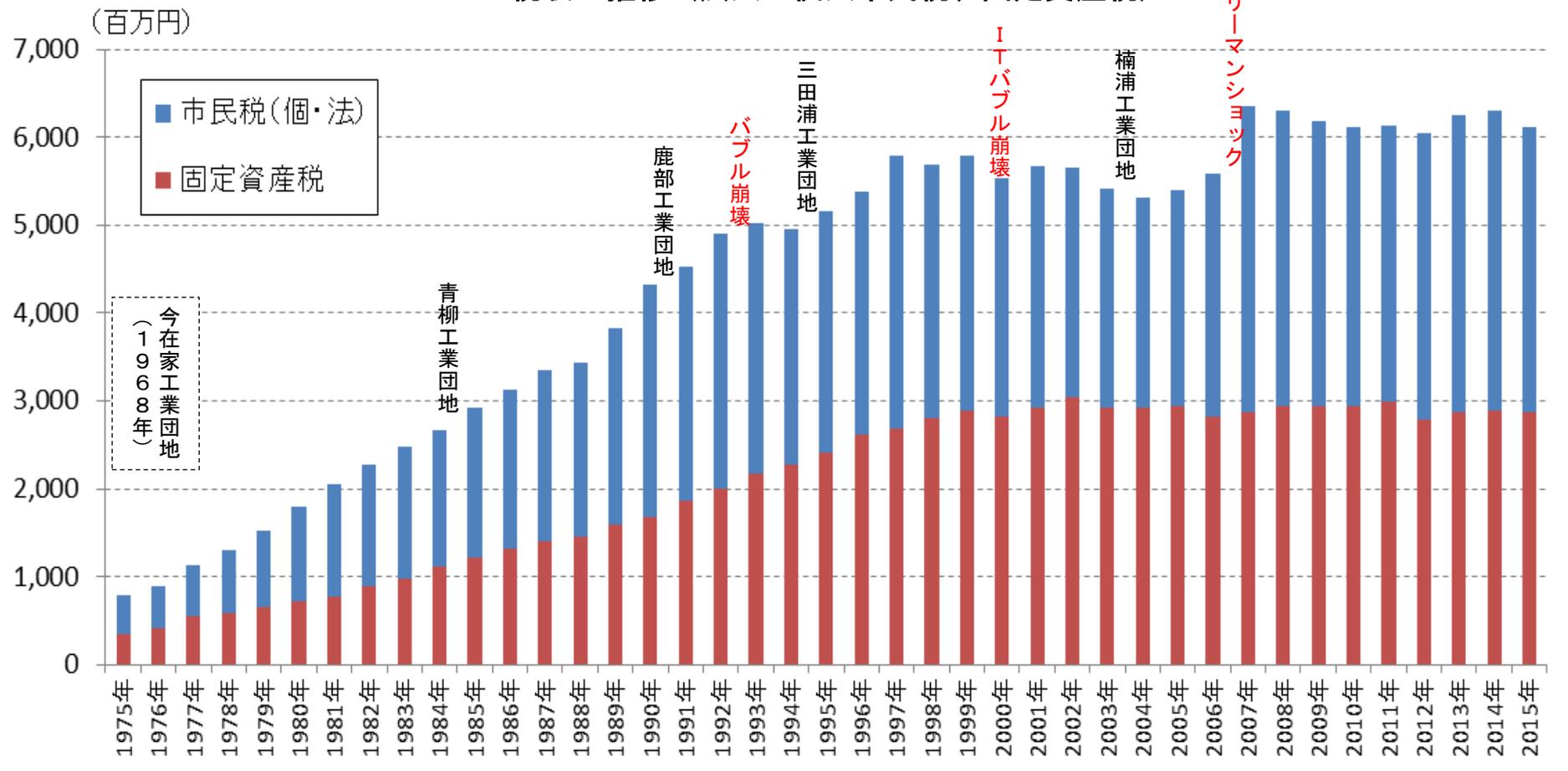
古賀市の工業団地

	工場団地名	事業主体	立地年度	当初進出	団地面積	用地面積
				企業数	(ha)	(ha)
第1	今在家工業団地	地域振興整備公団 (現・中小企業基盤整備機構)	昭和43年度 (1968年)	12企業	35.7	33.9
第2	青柳工業団地	神田土地区画整理組合	昭和58年度	19企業	15.2	12.2
			(1983年)			
第3	福岡食品加工団地	福岡食品加工団地協同組合	平成2年度	16企業	14.1	8.7
			(1990年)			
第4	三田浦工業団地	日本食品株式会社	平成6年度	10企業	19.6	15.5
			(1994年)			
第5	楠浦工業団地	古賀市都市開発公社	平成12年度	1企業	11.1	9.5
			(2000年)			
第6	古賀物流団地	株式会社福田組	平成26年度	24区画	19.1	15.4
			順次入居中			

古賀市の税収 (市民税、固定資産税)

- ・ 工業団地整備（企業誘致）と歩調を合わせて税収が増加。
- ・ 経済的に厳しい状況下においても、固定資産税が“強力に”下支え。
- ・ 市内の5工業団地は入居済。古賀物流団地（篠林）が造成を終え分譲中。
- ・ 隣接市町への人口流出と第7団地の開発が当面の課題。

税収の推移 (法人・個人市民税、固定資産税)



注) 2014年、2015年については当初予算 (歳入見込) ベース
出所) 古賀市

企業・事業者との連携、情報交換

1. 連携、情報交換

- 1) 古賀市商工会 工業部会（市全域）
- 2) 五社会（地場企業）
- 3) 十五日会・安全衛生協議会（今在家・青柳工業団地）
- 4) 金曜会（市内及び近隣市町の地場企業）
- 5) 工場長会（食品加工団地、三田浦・楠浦工業団地）

2. イベント等の実施

1) 古賀モノづくり博

- ・ 食の祭典（5月、約3.5万人）
- ・ 食の祭典 in ニビシ（3月、約5千人）
- ・ 工場見学したいけんツアー（8月、小・中学生対象）
⇒ コラボ商品の開発など

2) まつり古賀（11月、約4万人）

- ・ 「産業まつり（商工会）」と「農業まつり（JA）」を統合

古賀モノづくり博「食の祭典」

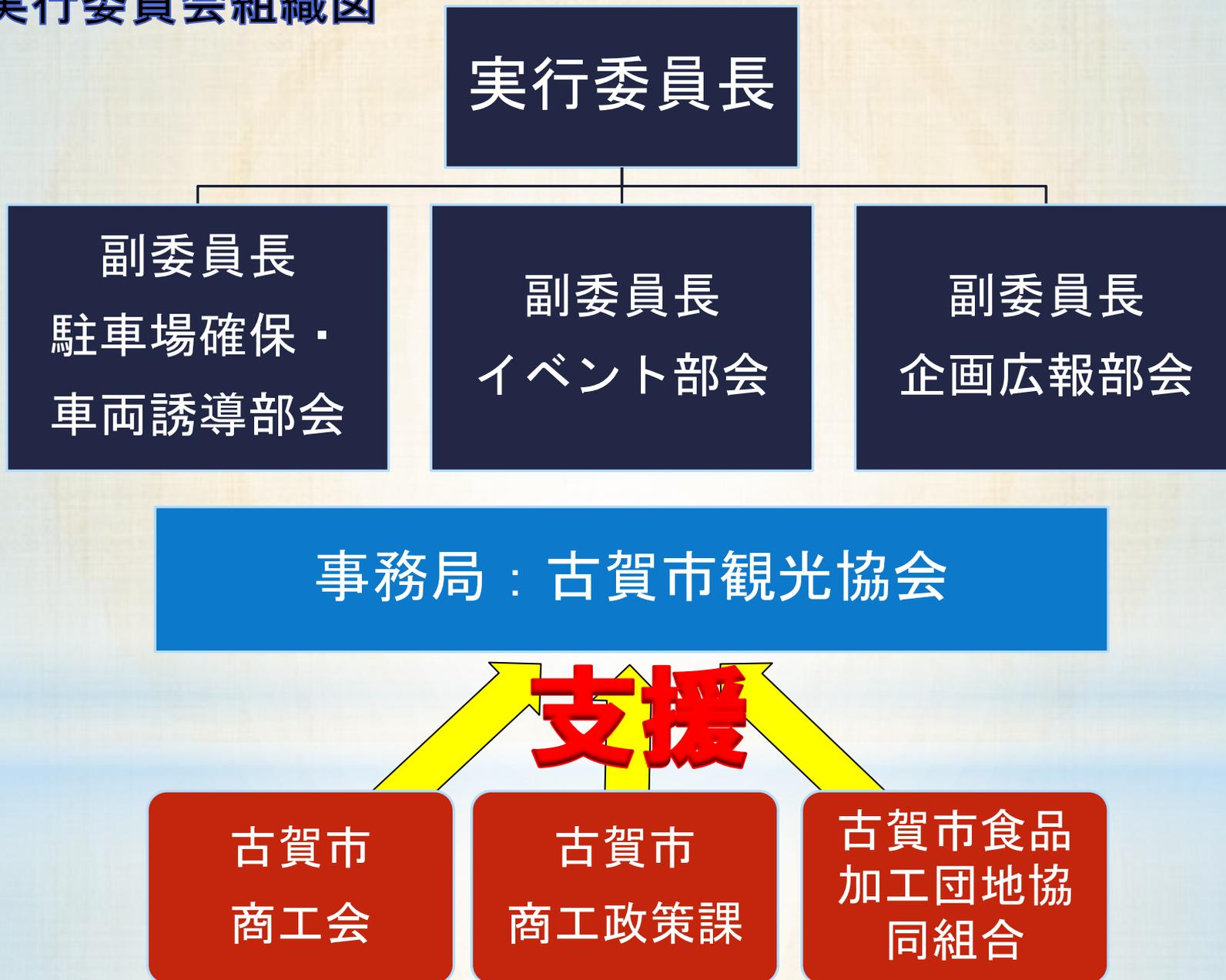
■イベントの目的

- 「食のまつり」で培われてきたイベントの企画力や実績を最大限活かし、さらに発展的に盛り上げる。
- 県内有数の工業集積を誇る古賀市の工業団地を広く市内外にアピールし、知名度を高める。
- 市民との交流を深め、愛着を持ってもらうとともに、市内企業相互の交流と連携を深め、活気とにぎわいのある古賀市づくりに寄与する。

■経緯

平成16年3月	第1回食品フェア（勤労者スポーツ広場）	
平成16年10月	第2回食品フェア（グリーンパーク）	
平成17年5月	第3回食品フェア（グリーンパーク）	
平成18年5月	第4回食品フェア（グリーンパーク）	
平成19年5月	第5回食品フェア（グリーンパーク）	
平成20年5月	第6回食品フェア（グリーンパーク）	
平成21年4月	第7回食品フェア（プレミアムイベントと同時開催：市役所前）	
平成22年5月	第1回食のまつり（グリーンパーク）	
平成23年5月	第2回食のまつり（グリーンパーク）	
平成24年5月	第1回古賀モノづくり博「食の祭典」	（食品加工団地内）
平成28年5月	第5回古賀モノづくり博「食の祭典」	（食品加工団地内）

■ 実行委員会組織図





食祭典
5月17日 9-15時



↑
食の祭典
駐車場
有料
500円









古賀モノづくり博



ご清聴ありがとうございました。